

第3回 糖尿病性腎症重症化予防事業検討委員会会議録

【1】開催日時：令和8年5月14日（木）午後5時30分～午後7時

【2】会場：門真市保健福祉センター 4階 会議室

【3】議題：

- (1) 事業実施の骨子案の確認
- (2) 今後のスケジュールについて
- (3) その他

【4】委員出席者：保健・医療団体を代表する者

福井 政慶（委員長）

堺 昭彦

中嶋 章貴

高橋 弘樹

関係行政機関の職員

喜多村 祐里（副委員長）

酒井 典子

本市の職員

笹井 麻里子

【5】市及び事務局出席者

川口健康増進課課長補佐

樋上健康増進課主任

中野健康増進課上席主査

発言者	発言内容
<p>事務局 (課長補佐)</p>	<p>それでは定刻となりましたので、ただいまより第3回糖尿病性腎症重症化予防事業検討委員会を開催いたします。</p> <p>委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日、司会をさせていただきます健康増進課課長補佐の川口でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、藤井委員が欠席、高橋委員と堺委員が少し遅れるという状況でございます。5名の委員のご出席をいただいておりますので、門真市附属機関に関する条例施行規則第5条第2項の規定により委員総数8名の過半数が出席となり、会議が成立していることをご報告いたします。</p> <p>また、後日議事録の作成を行うため、本日の会議を録音させていただきますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>携帯電話をお持ちの場合は、電源を切るか、マナーモードにさせていただきますようお願いいたします。</p> <p>発言の際には、お手元でございますマイクを使用させていただきますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、本日の資料の確認をお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 次第 ・資料2 対象者抽出基準 ・資料3 事業のフロー図 ・資料4 保健指導推薦書 ・資料5 今後のスケジュール <p>資料は以上でございます。</p> <p>資料は全て揃っておりますでしょうか。もし、不足の資料がございましたら、お知らせください。</p> <p>それでは、ここからの議事進行については、福井委員長にお願いしたいと思います。</p> <p>福井委員長、よろしくお願いいたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、お手元の会議次第によりまして、会議を進行いたします。</p> <p>次第1の「事業実施の骨子案の確認について」事務局に説明を求めます。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>

<p>事務局 (課長補佐)</p>	<p>それでは、ご説明させていただきます。 資料2「糖尿病性腎症重症化予防事業対象基準」をご覧ください。 前回、ご承認いただいた内容と一部ご意見ご提案のあった内容をもとに、事務局にて軽微な修正をさせていただいた内容が4点ございますので、先にご説明させていただきます。まず、ご指摘いただいた点について、1点目は、対象者の抽出基準案について、H b A 1 cの後ろに「(NGSP 値)」の文言を追記しました。</p>
	<p>堺委員・高橋委員が入室される</p>
<p>事務局 (課長補佐)</p>	<p>資料2を説明しております。 対象者の抽出基準につきまして、軽微な変更をしておりますので、最初からご説明をします。 修正の1点目が対象者の抽出基準案について、H b A 1 cの後ろに「(NGSP 値)」の文言を追記しました。 2点目は、同じく対象基準に関して、「尿蛋白」の表記について、前回委員会では、「尿蛋白(±)～(+)」と表記をしておりましたが、「尿蛋白\geq(±)」と改めております。3点目も対象基準について、内容の変更は行っておりませんが、文言の順番の入れ替えを行っており、前回委員会では「e G F R < 60 または尿蛋白\geq(±)～(+)のうちH b A 1 c \geq6.5 または空腹時血糖\geq126m g / d l」と表記していましたが、糖尿病が起因の疾患であることを考慮し、「H b A 1 c (NGSP 値) \geq6.5% または空腹時血糖\geq126m g / d l かつ e G F R < 60 または 尿蛋白\geq(±)」と表記の順番を変更しております。 4点目は、ご指摘のあったとおり、「おおむねの人数」の区分の右側「2580人のうち、左記の基準案に該当し、」の後ろに、主治医からの推薦の条件を明確にするため、「保健指導に適していると」という文言を追記しております。 以上の修正を踏まえ、改めて、第2回検討委員会で、ご承認いただいた対象者の抽出基準をまとめますと、特定健診受診者については、H b A 1 c (NGSP 値) \geq6.5% または空腹時血糖\geq126m g / d l かつ e G F R < 60 または 尿蛋白\geq(±)を満たしていることを条件に、対象者抽出を行うことにご承認いただきました。 また、特定健診未受診者につきましては、特定健診受診者と同じ基準に当てはまる方のうち、主治医が保健指導に適すると判断した方をご推薦いただくことにご承認いただきました。 加えて、対象者の除外条件としましては、重症化予防の観点から、I型糖尿病の方、糖尿病性腎症第5期、すなわち人工透析中もしくは腎移植後の方となります。</p>

次に、資料3をご覧ください。

事業実施のスキーム・フローについては、前回の委員会で、ご承認いただきましたが、スケジュールを追記し、若干の文言の修正を行っております。

資料3のご覧いただいているスケジュールについては、左側が特定健診受診者のフローで、右側が特定健診未受診者のフローとなっています。

まず、表の左側、特定健診受診者のスケジュールとフローについて、簡単にご説明いたします。令和9年1月～3月に特定健診の受診結果から今回ご提案している抽出基準に該当する対象者を抽出いたします。また、対象者に対してお送りする発送物の準備を行います。令和9年4月に市から必要書類を受け取った対象者が、主治医にプログラムに参加するかどうか、相談をしていただきます。

参加希望ありの場合のフローといたしましては、対象者は、令和9年5月中旬までに市に参加意向確認書と同意書を返信していただきます。

市は、対象者の主治医に対して、保健指導推薦書を令和9年5月中旬以降に送付しますので、主治医は、6月末までに推薦書を市に送付していただきます。

ここで、前回の会議において、当該「保健指導推薦書」は、「指導内容指示書」という様式名でしたが、様式名及び内容を修正しましたので、後程ご説明させていただきます。

保健指導推薦書を参考に、委託事業者による月1回もしくは月2回の介入支援を令和9年7月から12月までの6か月間実施いたします。

また、主治医に相談の結果、参加を希望されなかった対象者には、令和9年5月中旬以降に委託事業者による架電を1回行い、状況確認等の介入を行い、支援終了といたします。

次に表の右側の特定健診未受診者についてございます。

まず、令和9年4月にプログラム案内を含んだ必要書類を市から主治医にお渡しさせていただきます。また、令和9年4月から5月にかけて、主治医には、基準に該当し、かつ保健指導の介入支援に適すると判断する対象者を選定し、主治医から、選定した対象者に事業内容のご説明をしていただき、参加意向のある方に必要書類を渡していただきます。

令和9年6月中旬までに、市に対して、対象者から、参加意向確認書と同意書を返信していただき、主治医からは、記入済みの保健指導推薦書及び裏面の対象者チェックリストを市に送付していただきます。

令和9年6月下旬に市から対象者にプログラム案内を送付します。令和9年7月より委託事業者より保健指導推薦書を参考に介入支援を開始いたします。

令和9年8月以降に計3回保健指導の結果報告を行います。

	<p>事業実施のスキーム・フローについては、このような流れで実施していくということでご承認いただきましたが、具体的なスケジュールについては、初めてご説明をさせていただきましたので、後程ご意見を頂戴できればと思います。</p> <p>次に、資料4をご覧ください。主治医記載の様式等につきまして、一部修正をしております。変更は全部で3点ございます。</p> <p>まず、1点目、様式の名称について、前回まで当該様式は、「指導内容指示書」でしたが、「保健指導推薦書」と変更しております。</p> <p>2点目でございます。様式の内容につきまして、前回お示ししていた様式では、表面の下段に「指導を必要とする項目」の欄を設け、服薬管理、食事管理等をチェックすることとし、当該内容に沿って指導を行うこととなっております。しかしながら、保健指導においては対象者が現状を理解し、対象者と対話しながら、指導を必要とする項目だけでなく、対象者が自ら取り組みそうな行動を見出せるように支援をすることを考慮しまして、「指導を必要とする項目」の欄を削除しております。</p> <p>このような意図から、様式名も「指導内容指示書」から「保健指導推薦書」に変更しております。</p> <p>3点目でございます。「直近の検査結果」の項目のうち、右上の枠の「以下は、」で始まる文章について、「保健指導で使用しますので」という文言を追記しています。これを追記した理由に関しましては、コレステロールや中性脂肪といった糖尿病や腎症に関連する記載項目は、対象者の選定基準にはない項目ですが、保健指導で使用するための項目となりますので、情報提供の趣旨を明記するため追記をしております。</p> <p>前回の会議では指導内容指示書に関してご承認いただきましたが、様式名など一部修正をしておりますので、ご意見を頂きますよう、よろしく願いいたします。</p> <p>長くなりましたが、ご説明は以上となります。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただいまの事務局からの説明について、すでに前回の検討委員会で承認された内容ではありますが、いくつか修正点もありました。次回の委員会では最終の答申案を、市長へ答申する必要があると思いますが、最後に何かご意見等はございませんか。</p>
中嶋委員	<p>資料4 直近の検査結果の「尿アルブミン」の単位はmg/gではなく、mg/gCrではないかと思います。</p>
委員長	<p>確かにそうですね。</p>
中嶋委員	<p>その横の「たんぱく尿」は（定性）を入れておいたほうが、分かりやすいと思います。</p>

委員長	「たんぱく尿」は定性で良いですか。(+) や (-) の記載で良いですか。たんぱく尿には(定性)を追加しましょう。中嶋委員のご指摘がありました、尿アルブミンの単位としてはmg/gCr となります。「g・Cr」だったかな。
副委員長	「g・Cr」ですけど、「・」がなくても良いみたいです。
事務局 (上席主査)	mg/gCr ですね。
委員長	「・」がいるかどうか。「・」が付くかどうかは、検査会社によって違うようです。
副委員長	「たんぱく尿」で良いんですか。「尿たんぱく」の方が良いと思います。
中嶋委員	医学用語としては、おそらく「尿たんぱく」が正しいと思います。
副委員長	資料2 「～があった方」と「～した者」が混在している。どちらかに合わせた方が良いと思います。
委員長	「者」の方が良いように思います。
副委員長	「者」に合わせましょうか。
堺委員	資料4 治療内容の項目で GLP-1 注射だけの患者さんもおられるので、「GLP-1 注射」か、あるいは「その他」というような項目を入れた方が良いと思います。 資料4 診断名で「脳血管疾患」とありますが、心臓病も入ってくると思うので、「脳心血管疾患」とした方が良いと思います。
副委員長	「脳」と「血管」の間に「心」を入れますか。
堺委員	狭心症とか心筋梗塞の方が入ってくると思いますので。
委員長	はい。「脳心血管疾患」としましょう。
副委員長	「脂質異常」も「脂質異常症」の方が正しいと思います。
委員長	そうですね。合わせた方が良いですね。「脂質異常」に「症」を付けてください。
高橋委員	資料4 裏面のチェックリストの「5. e G F R < 60」、資料2 対象基準の「e G F R < 60」もあります。単位はいりませんか。単位は ml/min になると思います。 あと、資料4 裏面のチェックリストの「5. HbA1c (NGSP 値) ≥ 6.5」も単位は「%」になると思います。
中嶋委員	e G F R の単位 ml/min/1.73 m ² は、ちょっと長すぎるね。
事務局 (課長補佐)	e G F R の単位は長いので、省略しております。

高橋委員	体表面積補正がかかっている。採血で出てくる結果なので、体表面積補正がかかっていないので、1.73 m ² は省いても良いんじゃないかと思います。 資料4 直近の検査結果のeGFR (ml/min) で良いんじゃないかと思います。
委員長	資料4 直近の検査結果のeGFR (ml/min) に修正し、裏面の「5. eGFR<60」にml/minを追加しましょう。資料2も同様で、対象基準の「eGFR<60」にml/minを追加。
中嶋委員	行政は西暦で日付を書いてはいけないのですか。令和とか昭和とか書かないといけないのですか。決まりごとがあるんですか。
事務局 (課長補佐)	特に和暦で書かないといけないという決まりごとはありません。
笹井委員	役所の文書は基本、西暦を使用していません。問診票とかも和暦で。
副委員長	西暦・和暦を併記しますか。
事務局 (課長補佐)	西暦・和暦どちらで記載していただいても良いように、二段書きにしましょうか。それとも「昭和」や「令和」を消すか。
酒井委員	記載する医療機関が使用しやすいようにした方が良いでしょう。
事務局 (課長補佐)	医療機関は和暦・西暦どちらを使用されていますか。
中嶋委員	カルテは全て西暦です。
事務局 (課長補佐)	では、元号を削除させていただきます。
副委員長	生年月日の「昭和」も消しますか。「昭和」を消したら、みなさん「S」と書いてくれるんでしょうか。それとも、西暦で書かれるんでしょうか。記入日の「令和」も消しますか。
事務局 (課長補佐)	はい。元号は削除します。
委員長	診断名で「神経障がい」の「がい」はあえて平仮名なんですか。
事務局 (課長補佐)	そうです。行政の配慮で、「害」を平仮名で「がい」としています。
委員長	そうなんですか。
中嶋委員	余計目立つね。
副委員長	大阪府や厚生労働省の文書もそのように記載されています。差し支えなければ、「がい」を漢字の「害」の方にするのは、いかがでしょうか。

事務局 (課長補佐)	わかりました。
委員長	たんぱく尿の記載について、結局「尿たんぱく」にするのか、「たんぱく尿」にするのか。
中嶋委員	このまま「たんぱく尿」で良いよ。
委員長	「たんぱく尿（定性）」で。
事務局 (主任)	「たんぱく尿」は漢字の「蛋白尿」の方が良いですか。
中嶋委員	みなさん医師なのでね。漢字の方が良いでしょうね。
事務局 (上席主査)	治療内容の「たんぱく質制限」も漢字の「蛋白質制限」の方が良いでしょうか。
中嶋委員	読めない医師はいないと思うので。
酒井委員	治療内容の運動療法 制限あり、制限なしについてです。糖尿病の方であれば運動療法をしたほうが良いと思いますが。
副委員長	先生方はその点について、いかがでしょうか。
委員長	運動制限が「ある」、「なし」という事でしょうか。
副委員長	運動療法をする時に、これをしてはいけないといった制限があるかどうかという事でしょうか。
事務局 (主任)	糖尿病以外の他の疾患があった場合に、運動制限のある方も含まれてくるのではないかと思います、項目を設けております。
副委員長	運動制限があるか、ないかということですよね。
事務局 (主任)	そうです。
酒井委員	運動療法をしているか、していないか、その上で運動制限があるかないかを記載してもらう方が分かりやすいかなと思います。
副委員長	「運動療法」を「運動制限」に変更し、(□なし □あり) とするのは、どうでしょうか。
酒井委員	<input checked="" type="checkbox"/> は、「あり」ということですよ。
副委員長	「□運動制限」の前の□がややこしいですね。 「□薬物療法」の前の□も、薬物療法をしていたら、 <input checked="" type="checkbox"/> を付けることとなっていますが、□を削除したら、どうでしょうか。
酒井委員	「□」は、 <input checked="" type="checkbox"/> を入れる部分という認識で良いですよ。
事務局 (課長補佐)	そうですね。「□薬物療法」や「□食事療法」の□は、実施していた場合に <input checked="" type="checkbox"/> を入れていただくようにと思い、設けています。

副委員長	ただ、ややこしいので、□ではない方が良いですね。
委員長	これは現時点での治療内容ですよ。
事務局 (課長補佐)	はい。そうです。
委員長	それであるなら、まず運動療法をしているか、していないかを言いたいですよね。 運動療法をしている人の中で、制限をしているか、制限をしていないか。例えば、膝が痛いとか。そういうことですか。
事務局 (課長補佐)	そうです。
副委員長	そうすると、「□薬物療法 □なし □あり」というのは、おかしいことになりますね。「□薬物療法」に✓が入り、「□なし」という項目は不要ですね。
委員長	薬物療法はそうですね。
副委員長	「□薬物療法」の前の「□」を活かしておいて、薬物療法は何をやっているかを✓を入れてもらう。「□なし □あり」を削除して、□内服療法なのか、□インスリン注射なのか、□GLP-1 注射なのかを✓を入れてもらう方が良いと思います。 食事療法も「□なし □あり」ではなく、「□食事療法」の前の「□」を✓をいれて、その内訳を記載いただくほうが良いと思います。
堺委員	漠然と「しょっぱいものを食べたらあかんよ」と、具体的に1日何グラムと指示していない場合には、どのように記載しますか。
中嶋委員	「☑️食事療法 塩分制限 ☑️あり」と記載し、具体的なグラム数は記載しなくても良いと思います。
中嶋委員	蛋白質制限のグラムなんてわからないし、言われたところで… 成分表まで見て、やるわけではないので。 「肉類は控えてください」という程度で話をします。
堺委員	「食べ過ぎたらあかんよ」という形で、話をします。
中嶋委員	カロリーは、もしかしたら言っているかもしれません。 具体的なグラム数やカロリー数を言っていない場合には、「☑️あり」として具体的な数値は空欄で良いんじゃないでしょうか。
堺委員	栄養士さんがいたら、詳しい数値が書けますが…
事務局 (上席主査)	蛋白質制限というのは、入院しているというレベルの話ですよ。 入院先でしっかり管理されているという話だと思います。
委員長	ガイドラインで一律に全員が蛋白質制限を「する」ではなく、「する」、「しない」を患者それぞれに合わせて実施するようになっています。

堺委員	保健指導をする人が推薦書を見て、「蛋白質制限や塩分制限を主治医から言われていますね」という形で話をするんですよね。
酒井委員	仮に医療の中で「蛋白質制限を何グラム」と言われて、保健指導の中でどこまで細かく指導ができるものでしょうか。そこは、医療の範疇にはならないのでしょうか。
副委員長	例えば、食事のイラストを見せて、「これは蛋白質が多い食事ですよ」といったことまで指導の中で実施をするんですか。
事務局 (上席主査)	そこまで細かい指導までは実施しないのではないかと思います。
副委員長	それなら、グラム数まで書いてもらう必要があるのかな。
中嶋委員	グラム数を書いてもらう欄はあっても良いと思います。 丁寧な医師であれば口頭で話をされている場合もあると思いますので。グラム数を書いてもらう欄はあっても良いけど、書かなくても良い。 <input checked="" type="checkbox"/> ありを記載し、丁寧にしている医師が具体的な数値を書いてもらう。
副委員長	グラム数を書いてもらう欄があると、書かないといけないかなと思ってしまわないでしょうか。
事務局 (主任)	グラム数を書いてもらう欄の単位の表記を削除して、「肉類を控える」等の記載をしてもらう方が良いでしょう。
酒井委員	保健指導の中で対象者に「医師からどのように指導されているのか。」を聞き取るので、医師からの治療内容全てを記載いただく必要はないのでは。
事務局 (主任)	では、グラム数を書いてもらう欄はこのまま残しておきます。 運動療法に関して、よく実施する運動メニュー等の項目を設けておいたほうが良いでしょう。
中嶋委員	医師の解釈によっては、「朝夕 30 分ずつ散歩しましょう」も運動療法の一つです。
副委員長	では、運動療法「 <input type="checkbox"/> あり」の後ろに () を設けて、記載してもらうようにしましょうか。
堺委員	運動療法をしたらダメという方をどのように記載してもらうか。
委員長	そういう人は整形疾患の方だと思います。整形疾患があっても、むしろ運動療法をした方が良いと思います。
堺委員	主治医から運動療法をしたらいけないよという治療内容があるのに、保健指導で運動指導をされるといけないので。 そのようなケースは少ないと思いますけど。基本的には運動療法が必要だと思いますが。
副委員長	では、「 <input type="checkbox"/> 制限あり <input type="checkbox"/> 制限なし」を残しておいた方が良いでしょうか。

堺委員	<p>そうですね。「□制限あり □制限なし」を残しておきましょう。</p> <p>運動療法をしており、特に何も問題なければ「制限なし」に☑、少し控えてほしい場合には「制限あり」に☑を入れる形で良いですね。</p> <p>そもそも運動療法自体をしたらいけない人は、運動療法に□に✓をいれないで良いですよ。</p>
委員長	このままにしましょう。
委員長	他にどこかお気づきになられた点はありますでしょうか。
副委員長	資料3 フロー図の左側の特定健診受診者の所で、令和9年5月中旬に参加意向ありの場合に、「市から主治医に保健指導推薦書送付」と記載がありますが、これは参加者の氏名は記載されますか。誰の推薦書を依頼しているのか、主治医には伝えなくても良いものでしょうか。
事務局 (上席主査)	参加者の氏名を記載して、主治医にどなたの保健指導推薦書の作成を依頼しているかがわかるようにしていきます。
委員長	他はいかがですか。
副委員長	<p>できれば、参加希望なしの方に向けての1回だけの保健指導と参加希望ありの方に向けての6か月間の保健指導は、名前を変えておいた方がわかりやすいのかなと思います。</p> <p>「●●プログラム保健指導」と「通常の保健指導」といったような名前を別にして差別化しておいた方が良いかなと思います。</p>
酒井委員	<p>後程、事業を振り返る際に、どこで引っ掛かったかがわかりやすいかもしれませんね。</p> <p>例えば、参加希望ありの方の保健指導を「保健指導A」、参加希望なしの方の保健指導を「保健指導B」にする等にとすると、ここまで何人が参加しているのか等がわかりやすいと思います。</p>
	資料3の修正版を配付する。
事務局 (上席主査)	矢印部分が少しズレている箇所があるかもしれません。申し訳ございません。
委員長	<p>今、副委員長から参加希望ありの保健指導と参加希望なしの保健指導に関しての文言を変更したほうが良いのではないかという提案なんですけども。</p> <p>例えば、酒井委員より提案があった保健指導A・保健指導Bというような形で、同じ保健指導でも違うんですよというように名称を変更するのは、いかがでしょうか。</p>
高橋委員	特別感。
委員長	そうですね。特別感。
副委員長	わかりやすいようにしてもらえれば。

事務局 (課長補佐)	ご提案のあった通り、保健指導Aと保健指導Bで。
副委員長	では、左側（参加希望なしの方）の保健指導をA、右側（参加希望ありの方）の保健指導をBにしますか。 ただ、他の事業で「保健指導A」・「保健指導B」というような同じ名前を付けているものはないですか。
事務局 (課長補佐)	特には、ございません。 保健指導に名前を付けることは、ありません。
事務局 (上席主査)	例えば、6か月コースとか。
副委員長	6か月固定ですか。
事務局 (主任)	保健指導の期間は6か月程度と想定しております。
委員長	左側の保健指導は電話1回だけなんですよね。
事務局 (主任)	はい。
副委員長	これは、先生方に親しみやすい名前が良いと思います。「●●コース利用しときましようか」と。
事務局 (上席主査)	特別感を出すために、プラチナとか、プレミアムコースとか。
事務局 (課長補佐)	保健指導B（参加希望ありの方）は6か月コースにさせていただき、保健指導A（参加希望なしの方）は、特に名前をつけないという形とします。
事務局 (上席主査)	保健指導B（参加希望ありの方）は6か月コースで、保健指導A（参加希望なしの方）は保健指導。
副委員長	通常ですか。
事務局 (上席主査)	通常の保健指導。
委員長	では、もう一つは6か月コースで良いですよね。 これは、マンツーマンで指導ですよね。
事務局 (上席主査)	はい。
副委員長	場所はどこでするんですか。
事務局 (上席主査)	対象者が大丈夫であれば、自宅訪問をする場合もありますし、保健センターに来所していただいて、面談をする場合も考えています。 現在、特定保健指導も同じような形で実施をしておりますので、同じスキームで実施ができればと思っています。

委員長	なかなか良い言葉が出てこないんですけど。
高橋委員	では、Aは「通常保健指導コース」、Bは「6か月個別指導コース」はどうでしょうか。
委員長	「個別」。それ良いですね。「個別指導」。
副委員長	「個別指導」という名前で、嫌という方も出てくるかなと思うんですけど。
高橋委員	嫌な人もいるかもしれませんね。
委員長	どうしましょうか。良いですか、「個別」で。
高橋委員	「個別」を消して、「6か月指導コース」だけでも良いんですか。
副委員長	「6か月指導コース」。
委員長	「保健指導6か月コース」で良いですか。
事務局 (課長補佐)	「保健指導（6か月指導コース）」。
委員長	「通常コース」と。では、ここはこれで行きましょうか。 それでは、他どうでしょうか。
堺委員	推薦書を記載した場合に、コストは出るんですか。チェックだけやから、大したことはないけど。 保険点数は、推薦書はついてないですよ。他の先生方より言われた時に、僕らはどのように返したら良いのか。
委員長	医師会にとってメリットはあるのか。
事務局 (課長補佐)	推薦書を記入し、返信いただいた際に、他市でもお支払いをしている例もございますので、本市でもそのような形で検討していければと思っています。 具体的な金額については、この場で申し上げられません。
堺委員	では、聞かれたら「検討中です」とっておきます。
委員長	是非、ご検討の程、よろしく願いいたします。
事務局 (課長補佐)	医師会様と調整させていただきます。
委員長	そうしましたら、先生方からの貴重なご意見とご指摘やアドバイスで、出来上がってきましたが、一旦…。
事務局 (課長補佐)	その前に、ご指摘いただいた事項をおさらいしたいと思います。 資料2 左側、糖尿病治療中で特定健診受診ありの対象基準では、「尿蛋白」→「蛋白尿」に変更させていただきます。
事務局 (主任)	資料4で「蛋白尿」としているため、文言を統一させていただきます。

<p>事務局 (課長補佐)</p>	<p>「eGFR<60」に単位を付けて記載をさせていただく。 おおむねの人数の右側の「～主治医からの推薦があった方」→「～主治医からの推薦があった者」に変更します。 除外要件の一番下の「～75歳に達する方」→「～75歳に達する者」に変更します。資料2は以上です。</p> <p>資料3 フロー図の左側の令和9年5月中旬 「保健指導」→「保健指導(通常コース)」に変更させていただくのと、令和9年7月 「保健指導」→「保健指導(6か月指導コース)」とさせていただきます。資料3は以上です。</p> <p>資料4 記入日・生年月日・検査日について「令和」と「昭和」を消させていただきます。</p> <p>診断名の「神経障がい」→「神経障害」、「脂質異常」→「脂質異常症」、「脳血管疾患」→「脳心血管疾患」に変更させていただきます。</p> <p>治療内容では、薬物療法・食事療法などの「□なし」を削除し、運動療法はご意見をいただきましたが、最終的には変更なしとさせていただきます。</p>
<p>副委員長</p>	<p>インスリン注射の横に「GLP-1注射」を。</p>
<p>事務局 (課長補佐)</p>	<p>はい。わかりました。 「GLP-1注射」と「その他」を追記させていただきます。</p>
<p>堺委員</p>	<p>カッコを付けた方がわかりやすい。 薬物療法 (□内服療法 □インスリン注射 □GLP-1注射)</p>
<p>事務局 (課長補佐)</p>	<p>では、薬物療法 (□内服療法 □インスリン注射 □GLP-1注射) とさせていただきます。 食事療法とかも、同じようにしますか。</p>
<p>堺委員</p>	<p>そうですね。 「□食事療法」に✓を入れるということは、食事療法やってますよという意味ですね。そこに✓を入れたら、どんな内容ですかというのを書きますね。</p>
<p>事務局 (課長補佐)</p>	<p>食事療法「□なし □あり」を削除する。</p>
<p>堺委員</p>	<p>「□食事療法」の最初の□に✓が入ることが、「あり・なし」がわかるという意味ですね。</p>
<p>事務局 (課長補佐)</p>	<p>そうです。 「エネルギー制限」とかの部分をカッコで囲った方が良いですか。</p>
<p>堺委員</p>	<p>「□運動療法」の最初の□に✓が入ると、運動療法はしているということで、その中で無制限でやっているのか、制限があるかについて✓を入れてもらう。これもカッコで括った方が良いです。</p>
<p>副委員長</p>	<p>エネルギー制限、蛋白制限とかの前に大きなカッコを入れますか。</p>

事務局 (課長補佐)	はい、わかりました。
堺委員	各療法の前の「□」で、やっているかやっていないかがわかる。やっている場合は✓を入れてもらい、やっていない場合はそのまま。✓を入れたら、どんな内容をしているのかを書く。
事務局 (課長補佐)	はい、わかりました。
副委員長	尿アルブミンの単位ね。
事務局 (課長補佐)	直近の検査結果で「e G F R (ml/min/1.73 m ²)」→「e G F R (ml/min)」、 「たんぱく尿」→「蛋白尿 (定性)」、「尿アルブミン (mg/g)」→「尿アルブ ミン (mg/gCr)」に変更させていただきます。 裏面の方は、「e G F R < 60」→「e G F R < 60ml/min」に変更させていただきます。
副委員長	その上の「HbA1c (NGSP 値) ≥ 6.5」も単位が抜けているから%を入れる。 「尿蛋白」も「蛋白尿」にしてください。
堺委員 1 : 10 : 50	表面の糖尿病罹患期間の「□約 年」の□は、いりますか。どういう 意味ですか。飾りなんか、✓を入れるものなのか。 薬物療法をしている人とかは、最初の□に✓を入れないと思う。そういう 人も出てくるじゃないかなと思います。不用意に「□」を多用すると、やや こしい。
副委員長	「□」を入れておく意味は。
事務局 (課長補佐)	項目としてわかりやすいようにと思って付けました。
副委員長	それであれば、要らないと思います。
事務局 (課長補佐)	では、消します。 ご指摘いただいた点を変更しますが、抜けはなかったでしょうか。
委員長	ご意見をいただきましたので、これで答申案とさせていただきます。
事務局 (課長補佐)	それでは、以上の内容をとりまとめて、次回の第4回検討委員会にて、 答申する内容とさせていただきます。 とりまとめにつきましては、事務局に一任していただき、最終的に福井委 員長にご確認いただくということによろしいでしょうか。 ⇒ 異議なし では、その形で進めさせていただきます。 よろしく願いいたします。

委員長	<p>それでは、次の議題に移ります。</p> <p>次第2の「今後のスケジュールについて」を事務局より説明をお願いします。</p>
事務局 (課長補佐)	<p>はい、今後のスケジュールについてご説明させていただきます。</p> <p>資料5をご覧ください。</p> <p>次回、第4回の検討委員会は、8月27日(木)17時30分から保健福祉センターで予定しております。</p> <p>とりまとめた内容を福井委員長から宮本市長に答申いただくこととなりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、当該検討委員会につきましては、今後は事業の評価等、ご意見を賜る場として機能させてまいりたいと考えております。</p> <p>現在の委員委嘱期間は令和8年9月30日までとなっておりますが、介入支援の開始に伴って、改めて委員の委嘱をさせていただきたく、何卒ご協力のほど、よろしくお願いいたします。</p> <p>ご説明は以上です。</p>
委員長	8月27日は、何時からの予定でしょうか。
事務局 (課長補佐)	17時30分から開始を予定しております。
委員長	答申というのは、どのような形となりますか。
事務局 (課長補佐)	こちらで取りまとめた資料を宮本市長に手交していただく、セレモニータ的なものです。
委員長	それはいつですか。
事務局 (課長補佐)	8月27日(木)です。
委員長	じゃあ、市長が来られて、17時30分から始まりますか。
事務局 (課長補佐)	<p>その部分は現在調整中です。</p> <p>もしかしたら、市長が難しい場合には、代理で別の者が来られるかもしれません。</p>
委員長	ただいまの事務局からの説明について、何か質問等はございませんか。よろしいでしょうか。
委員長	それでは、次第3「その他」であります。委員の皆様、全体を通して何かご質問やご意見などございませんか。
中嶋委員	この会議はホームページとかでオープンになっていて、一般の方も見れるようになっているのでしょうか。傍聴席も設けられて、前は傍聴者もいたように思います。市民の方がこの会議が開かれていることを調べようと思えば、調べられるのでしょうか。

事務局 (課長補佐)	議事録等もホームページに掲載させていただいております。開催日程についても掲載しています。
中嶋委員	興味がある人は「どうぞ」という形なんですね。 前回傍聴に来られていた方は興味があったんですね。
事務局 (課長補佐)	そうですね。個人名は言えませんが、傍聴に来られていました。
副委員長	ホームページには委員名等は公表されているんですか。
事務局 (課長補佐)	そうです。委員名も公表されています。
副委員長	患者さんが見たりするかもしれませんね。かかりつけ医の先生の名前とかを調べて。
事務局 (課長補佐)	会議は一般的に公開されるものでして。
中嶋委員	会議の中身もオープンになっているんですか。
事務局 (課長補佐)	そうです。話し合う内容等を公開しています。
委員長	他はどうですか。
副委員長	答申書ができあがった状態で、次回の会議に参加する形になりますが、事前に委員長以外に他の先生方にも見ていただく機会がありますか。
事務局 (課長補佐)	答申書が出来上がり次第、委員長に確認をしてもらい、他の先生方にも確認いただく予定です。
副委員長	誤字脱字などが心配なので。ぬかりがないようにお願いします。
事務局 (課長補佐)	はい。わかりました。
委員長	事務局からは、何かございますか。
事務局 (課長補佐)	特にございません。
委員長	それでは、以上をもちまして、第3回 糖尿病性腎症重症化予防事業検討委員会を終了いたします。 皆様、ありがとうございました。